

目指せ！広島県子ども観光大使・広島市教室 お堀から広島城を見学して、 お城の秘密を発信しよう



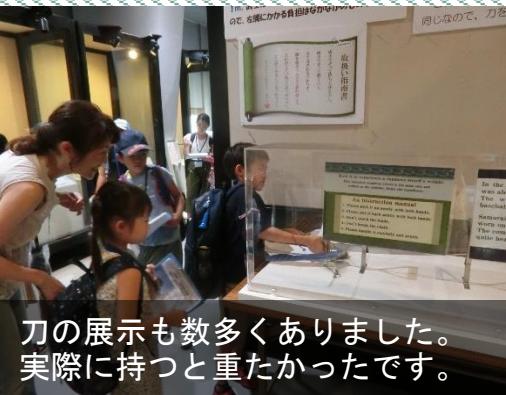
令和元年7月20日（土），広島城にて「目指せ！広島県子ども観光大使広島市教室」を開催しました。広島城は、戦国大名の毛利輝元が1589年に造り始めたお城です。その後、1619年に浅野氏が広島城の城主になり、12代に渡って領地を治めます。今年2019年は、浅野氏が広島城に入城して400年目にあたります。最初は、学芸員の方から、広島城の敷地内に残された戦争に関する遺跡（戦跡）について教えていただきました。天守閣を見学した後、観光遊覧船に乗って、ガイドさんから石垣やお堀に住む生き物のことなど、広島城の秘密をたくさん教えていただきました。詳細は裏面をごらんください。

■ 学芸員の方のお話：戦争の遺跡を学びました



広島城主幹学芸員主任の秋政久裕様から、戦争に関連する史跡（戦跡）についてのお話を聞きました。かつて国会が広島に移されたことや、戦争中の防空作戦室の跡が残されていることを知りました。特に、防空作戦室から原爆投下の第一報を電話で知らせた話を心に残りました。語り継いでいくべき大切な話だと感じました。

■ 広島城天守閣の観覧：武士の気分を体験しました



広島城天守閣に入り、城内を見学しました。お城の歴史や、江戸時代の暮らしづくりが分かるものが数多く展示されており、まるで博物館のようでした。子供たちが強く興味をもったのは、やはり体験コーナーでした。鎧や兜を身に着けたり、実物の刀を持って重さを体験したりしながら、武士の気分を体感して楽しんでいました。

■ 遊覧船での観光：広島城の秘密をたくさん知りました



最後に、遊覧船に乗って、お堀から広島城を見学しました。水の深さや石垣に隠された秘密の記号など、初めて知る内容に興味津々でした。遊覧船に乗って説明を聞くことで、広島城での学びがさらに深まりました。



←活動の様子や児童の作品（川柳）を、TOSS広島のWEBページからご覧いただけます。

■ 児童の感想

△広島城の歴史や、誰がお城を造ったのか分かって良かったです。また、お堀の水は太田川の水だと分かったので、参加して良かったです。（3年男児）

△広島城のお堀は、敵が攻めてこないように、昔は3mぐらい深さがあったことが分かりました。ぜひ、また行ってみたいですね。（4年男児）

△遊覧船がすごく楽しかった。ゆっくりと船が動いたので、いろいろな物が見えて勉強になったし、楽しかった。また来て乗りたい。（5年女児）

■ 保護者の感想

△広島に住んでいても、広島城に入ることがなかったので良い機会になりました。毎年、広島城に来ても、遊覧船があることも知りませんでした。

△「灯台もと暗し」で知らなかったことをたくさん聞くことができて、とても良かったです。良い機会をいただき、ありがとうございました。

△近いのになかなか来ることのできない広島城に来れて、中も見学できてよかったです。城内は博物館みたいで驚きました。子供も遊覧船に乗れてとても喜んでいました。